

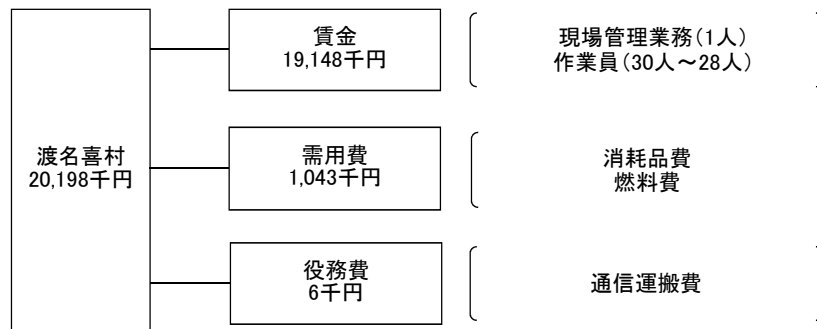
市町村名		渡名喜村				
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	1-①	環境保全・美化推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア
担当部課名	民生課・経済課		事業実施(予定)年度	平成24年～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興
事業内容	集落内及び観光地周辺の清掃美化、外来植物の駆除及び在来植物の保全育成を行う。					
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )					
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
		(a) 当初予算額	51,840	49,924	34,222	35,862
	(b) 予算現額	47,745	36,605	24,577	28,099	31,889
	(c) 増減額(b-a)	▲ 4,095	▲ 13,319	▲ 9,645	▲ 7,763	▲ 3,523
	(d) 繰越額	—	—	—	—	—
	A. 計(b+d)	47,745	36,605	24,577	28,099	31,889
	B. 執行済額	43,052	28,256	21,017	23,635	20,198
	うち交付金充当額	34,441	22,604	16,813	18,906	16,158
	次年度繰越額	0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)	90.2%	77.2%	85.5%	84.1%	63.3%
予算の状況の説明	悪天候による作業の中止が生じたことを踏まえて予算を減額(3,523千円)したものの、その後の天候不順や人員不足などにより、不用(11,691千円)が生じた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況				
		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	緑化及び美化活動実施箇所	目標	( 28箇所 )	( 28箇所 )	( 28箇所 )	(            )
		実績	28箇所	28箇所	28箇所	
	外来植物駆除実施箇所	目標	( 8箇所 )	( 8箇所 )	( 8箇所 )	(            )
		実績	8箇所	8箇所	8箇所	
	在来植物保全育成実施箇所	目標	( 14箇所 )	( 14箇所 )	( 14箇所 )	(            )
実績		14箇所	14箇所	14箇所		
達成状況説明	現場管理員(1人)、作業員(前半30人、後半28人)を雇用し、緑化及び美化活動(28箇所)、外来植物駆除(8箇所)、在来植物保全育成(14箇所)を計画どおり実施した。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)	基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)
		目標	(            )	( 80% )	( 80% )	( 80% )
	実績		93.20%	93.44%	79.6%	
	目標	(            )	(            )	(            )	(            )	(            )
	実績					
進捗状況説明	島外からの来島者に対してアンケート調査を実施(集計期間2019.4～2020.3)したところ、集落内及び観光地周辺について、魅力的な観光地としての景観形成が図られたとの回答が79.6%となり、わずかに目標の達成には至らなかった。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート調査の実績値が昨年度に比べて低下し、目標を達成できていない。</li> <li>農業などと兼業する作業員が多く、作業日あたりの人員確保に課題がある。</li> <li>不用額の割合が高かった(約37%)ことから、予算執行状況の把握と積極的な予算流用が課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標を達成できなかった要因として、草木の生長が早まる夏場に美化活動が行き届いていない可能性がある。</li> <li>これまで作業は平日のみ実施しているところであるが、業務委託に変更することで、より自由な作業日の設定が可能となることから、実施方法の見直しを検討する。</li> <li>不用の縮減に向けた取り組みを検討する必要がある。</li> </ul>

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>夏場の美化活動について、観光客が多く訪れる場所を優先的に実施することにより、魅力的な景観形成に繋げる。</li> <li>事業の実施方法について、業務委託に変更することにより、より効率的な実施を目指す。</li> <li>不用の縮減に向けて、予算執行状況を随時把握し、不用が生じる場合には予算を減額・流用するなど適切に対応する。</li> </ul>

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
20,198	20,198	16,158	4,040	0



資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定方法については、賃金職員を村規程に基づき採用し、妥当であった。 ○天候不順や人員不足の影響があり、不用率が約37%となった。 ○費用・使途については、必要最低限の範囲であり、適正であった。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		渡名喜村						
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-①	離島苦解消移動手段安定化対策事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-ウ		
担当部署名	総務課	事業実施(予定)年度	平成25～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	交通基盤の整備と交流ネットワークの充実強化 Ⅲ-9		
事業内容	島民及び来島者の交通手段を安定的に確保するため、フェリーの欠航時等に代替手段となるヘリタクシーを利用した場合の運賃を一部補助する。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(    )							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	2,000	2,000	2,400	2,400	2,400	2,400
		(b) 予算現額	760	2,680	1,920	864	2,400	2,400
		(c) 増減額(b-a)	▲ 1,240	680	▲ 480	▲ 1,536	0	0
		(d) 繰越額	—	—	—	—	—	—
		A. 計(b+d)	760	2,680	1,920	864	2,400	2,400
	B. 執行済額		760	1,344	1,920	864	864	864
	うち交付金充当額		608	1,075	1,536	691	691	691
	次年度繰越額		0	0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	50.1%	100.0%	100.0%	36.0%	36.0%
予算の状況の説明		予定していたフライト回数(50回)よりヘリタクシーの利用者が少なかったため、不用(1,536千円)が生じた。						
活動目標(指標) 及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
	観光客及び住民に対するフライト実施に係る支援回数	目標	( 40 )	( 50 )	( 50 )	( )		
		実績	40	18	18			
			目標	( )	( )	( )		
		実績						
達成状況説明	・当該年度については、海上時化に伴うフェリー欠航時のヘリタクシー利用者が少なかった事や、視界不良によるフライト制限も数回あったことから、支援回数が減少した。							
成果目標(指標) 及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)	
	フェリー欠航時に代替手段となるヘリタクシーの運賃補助を行うことで、利便性が確保されると感じたか(80%以上)を含めて当該事業のあり方をアンケートで検証する。	目標	( )	( 80% )	( 80% )	( 80% )	( )	
		実績		97%	98%	99%		
			目標	( )	( )	( )	( )	
			実績					
進捗状況説明	・本事業の利便性についてのアンケートを実施したところ、満足度99%の結果となり、目標を大きく上回り達成することができた。 ・フェリー欠航時においても、沖縄本島への往来が可能であることから、利用者の満足度をえた結果となった。							

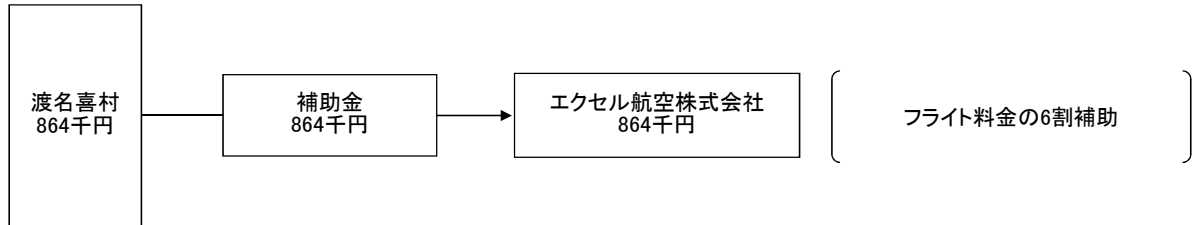
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本村では、フェリー欠航時の移動手段がヘリタクシーのみであり、近隣離島においても同様にヘリタクシーを利用しているため、予約が取りづらい状況がある。</li> <li>・不用額の割合が高かった(約64%)ことから、予算執行状況の把握と積極的な予算流用が課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予約状況について、運航事業者と連絡を密にとり、利用者の負担も考えて相乗り等を推進することで、より多くの利用者のフライトが可能になると考える。</li> <li>・不用の縮減に向けた取り組みを検討する必要がある。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

・運航事業者との連絡・連携を図りながら、より多くの利用者の移動手段を確保し、利便性向上に努める。  
 ・不用の縮減に向けて、予算執行状況を随時把握し、不用が生じる場合には予算を減額・流用するなど適切に対応する。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
864	864	691	173	0



資金の流 れ、 費 目 ・ 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定について、県内で民間ヘリ輸送を行っている事業者はエクセル航空のみであり、妥当である。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○利用者の減少により、不用率が約64%となった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○利用者も運賃を負担しており、受益者との負担関係は妥当である。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途は、本事業のフライト料金のみであり、必要なものに限定されている。

市町村名		渡名喜村					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	児童・生徒の教育活動助成事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2(2)-イ	
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成26~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	地域における子育て支援の充実	
事業内容	村外での教育諸活動(スポーツ・文化)及び交流学习へ参加する児童・生徒に対し、船賃及び宿泊費等の補助を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
		(a) 当初予算額	1,284	1,027	1,866	4,564	2,499
	(b) 予算現額	1,284	470	1,589	2,222	2,499	
	(c) 増減額(b-a)	0	▲ 557	▲ 277	▲ 2,342	0	
	(d) 繰越額	-	-	-	-	-	
	A. 計(b+d)	1,284	470	1,589	2,222	2,499	
	B. 執行済額	422	300	275	360	175	
	うち交付金充当額	336	240	220	287	140	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	32.9%	63.8%	17.3%	16.2%	7.0%	
予算の状況の説明		台風及び年度末の季節風等の悪天候の影響によりフェリーの欠航が発生し、児童・生徒の島外での教育活動への派遣回数が減少したことにより不用額(2,324千円)が生じた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	スポーツ大会参加 (小学生34名、中学生40名)	目標	( 小15名 中40名 )	( 小24名 中37名 )	( 小34名 中40名 )	( 小34名 中40名 )	
		実績	小15名 中18名	小16名 中9名	小24名 中18名	小11名 中13名	
	文化発表会等 (小学生16名、中学生10名)	目標	( 小16名 中13名 )	( 小17名 中10名 )	( 小16名 中10名 )	( 小16名 中10名 )	
		実績	小23名 中7名	小12名 中3名	小12名 中3名	小10名 中6名	
交流学习 (小学生16名、中学生5名)	目標	( 小15名 中8名 )	( 小17名 中10名 )	( 小16名 中5名 )	( 小16名 中5名 )		
	実績	小15名 中8名	小10名 中7名	小17名 中0名	小10名 中0名		
達成状況説明	村外でのスポーツ大会参加、文化発表会等、交流学习へ参加する児童生徒に対し、船賃及び宿泊費等の補助を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)
	申請した保護者へのアンケートで、児童生徒の視野が広がったとの回答割合(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	目標	(      )	( 80% )	( 80% )	( 80% )	(      )
		実績		100%	100%	100%	
進捗状況説明	申請した保護者へアンケートで、児童・生徒の視野が広がったとの回答割合は、100%となり、目標を達成した。						

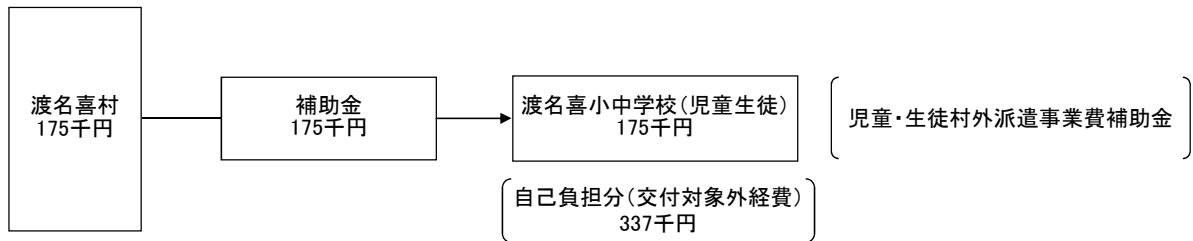
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・荒天によるフェリーの欠航により、派遣予定の大会や発表会に参加できない場合がある。</li> <li>・不用額の割合が高かった(約93%)ことから、予算執行状況の把握と積極的な予算流用が課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・荒天が予想される場合は、前倒しで出発するなどの対応ができるか学校や保護者間で早急に相談し、可能な限り村外で開催される大会等へ参加する機会を確保できるよう配慮する必要がある。</li> <li>・不用の縮減に向けた取り組みを検討する必要がある。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

・参加予定の大会等に児童生徒を可能な限り派遣できるように天候に留意しながら対応する。  
 ・不用の縮減に向けて、予算執行状況を随時把握し、不用が生じる場合には予算を減額・流用するなど適切に対応する。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
512	175	140	35	337



資金の流 れ、 点 検 評 価 目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先となる児童生徒は、交付要項に基づいており、妥当であった。 ○派遣回数減少により、不用率が約93%となった。 ○費目・用途について、交付要綱に基づき支給し、精算時に用途内容を確認していることから、必要なものに限定されている。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		渡名喜村					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-①	渡名喜村多目的拠点施設整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-(イ)	
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成26～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化	
事業内容	子ども預かり所、老人福祉施設、歴史民俗資料館、災害時避難施設などからなる多目的拠点施設を整備する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和4年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
		(a) 当初予算額	103,431	650,287		—	16,390
	(b) 予算現額	158,260	667,904		9,634	15,510	
	(c) 増減額(b-a)	54,829	17,617		9,634	▲ 880	
	(d) 繰越額	—	—		—	—	
	A. 計(b+d)	158,260	667,904		9,634	15,510	
	B. 執行済額	96,433	194,378		9,072	15,510	
	うち交付金充当額	77,146	155,502		7,257	12,408	
	次年度繰越額	61,680	473,526		—	0	
	執行率(%) (B/A)	60.9%	29.1%		94.2%	100.0%	
予算の状況の説明	当初計画どおり基本計画策定及び展示設計業務を実施したところ、入札残が生じたことから、予算の減額(880千円)を行った。						
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	基本計画策定業務及び展示基本設計業務委託の実施	目標	( 業務の実施 )	( )	( )	( )	
		実績	業務の実施				
		目標	( )	( )	( )	( )	
実績							
達成状況説明	当初計画どおり基本計画策定業務及び展示基本設計業務委託を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(R4年度)
	基本計画策定業務及び展示基本設計業務委託の完了	目標	( )	( 業務の完了 )	( )	( )	( )
		実績		業務の完了			
	【R4成果目標】 供用開始後1年目 年間利用者数 1,100人	目標	( )	( )	( )	( )	( 1,100人 )
		実績					
進捗状況説明	当初計画どおり基本計画策定業務及び展示基本設計業務委託が完了した。						

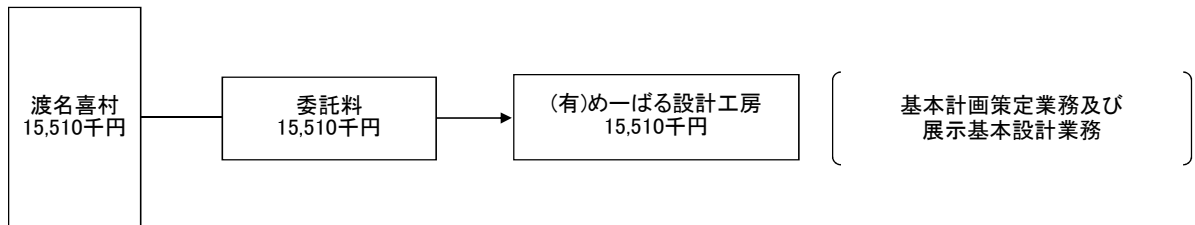
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本年度実施した「基本計画」及び「展示基本設計」を踏まえ、引き続き多目的拠点施設の整備に向けた取り組みを進めることが重要となる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史民俗資料館における展示について、検討委員会を開催し、検討委員から積極的な意見を聴取するなど、魅力的な展示に向けた検討を行う必要がある。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

・歴史民俗資料館の展示製作実施設計及び工事にあたっては、検討委員会における検討内容を踏まえて、魅力的な展示品の制作に取り組む。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
15,510	15,510	12,408	3,102	0



資金の流 点 検 評 価 目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は、プロポーザル方式により選定しており、妥当であった。 ○不用は発生しておらず、予算規模は適正であった。 ○費用、用途については、完了段階で検査を実施しており、目的に即し必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	